

湛水土中(カルパー) 直播栽培特報 第4号

令和2年7月
富山市農業協同組合
富山農林振興センター

～JA富山市米品質向上生産運動展開中～

本年の幼穂形成期は、昨年より1日遅い7月17日頃(5/2播種)となりました。

今後、平年並みの気温で推移すると、出穂期は、8月8日頃と見込まれます。登熟期間の稲体活力維持のため、生育ステージにあわせた水管理の徹底と、生育状況に応じた追肥対応に努めましょう。

表 直播コシヒカリ(カルパー)の生育状況(7月17日現在)

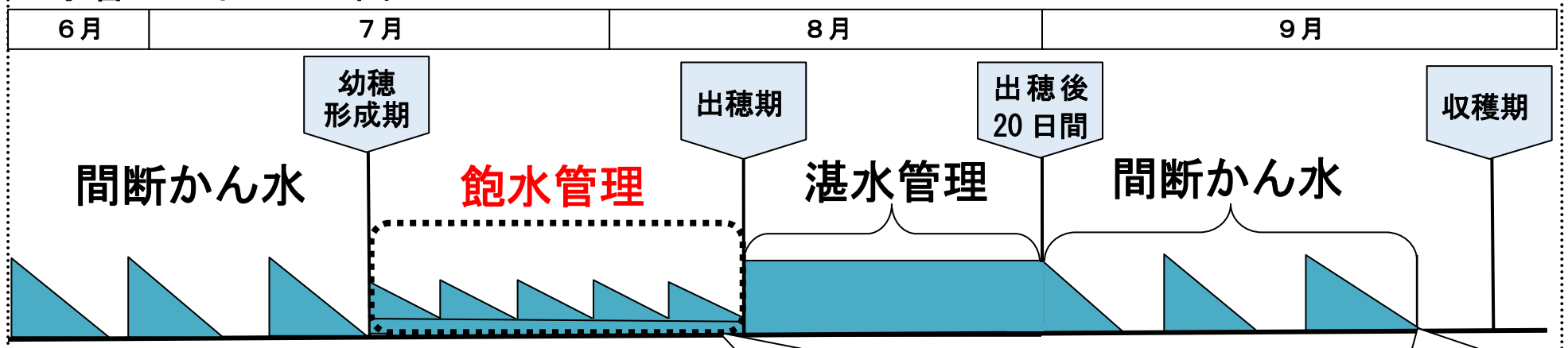
	播種日	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉齢	群落葉色	幼穂形成期	出穂期
R2年	5/2	78.2	538	11.7	4.1	7/17	(8/8)
R1年	5/2	73.7	462	11.2	3.7	7/16	8/6

※R1は7月16日現在

水管理

- 直播は根域が浅く乾燥に弱いため、出穂までは水不足にならないよう「飽水管理」を行いましょう。
- 出穂後20日間は湛水状態を保ち、その後は刈取りの5～7日前まで間断かん水を続けましょう。
- フェーン現象が予想される場合は、あらかじめ湛水しておきましょう。

<水管理のイメージ図>



葉色が濃い場合は、この時期も「間断かん水」を続けましょう。

刈取りの5～7日前落水

出穂前の葉色確認・追加穂肥

- 必ず出穂7～10日前頃に葉色の確認を行い、葉色4.0(砂壤土では4.2)を下回る場合は、出穂3日前(走り穂が出る頃)までに追肥3号で7kg/10aを施用し、穂揃期の葉色を4.2～4.5(砂壤土は4.5)へ誘導しましょう。

病虫害防除

- 品質向上のため、斑点米の原因となるカメムシ類やいもち病等の防除を徹底しましょう。



今年もカメムシ類が多発しています

防除時期		対象病虫害	農薬名	10a当たり散布量
生育ステージ	時期の目安			
穂揃期	8/11～8/13	いもち病 ウンカ類、カメムシ類	ラブサイドキラップ 粉剤DL	4kg
傾穂期	8/18～8/20	ウンカ類、カメムシ類	スタークル粉剤DL	3kg



図 主な斑点米カメムシ類

左:アヒガホミドリカメムシ

右:アサギカメムシ

- ・ほ場の生育ステージにあわせて、適期に防除しましょう。
- ※カメムシ類に対する防除効果を高めるために、散布間隔は7日間を目安とし、10日以上あけないよう、計画的に実施してください。
- ・農薬の散布は、使用基準を必ず守り、風速・風向きに注意し、周辺への飛散防止に努めましょう

令和2年度 富山県農薬危害防止運動(6/15～9/14)

～農薬は 周りに配慮し 正しく使用～